

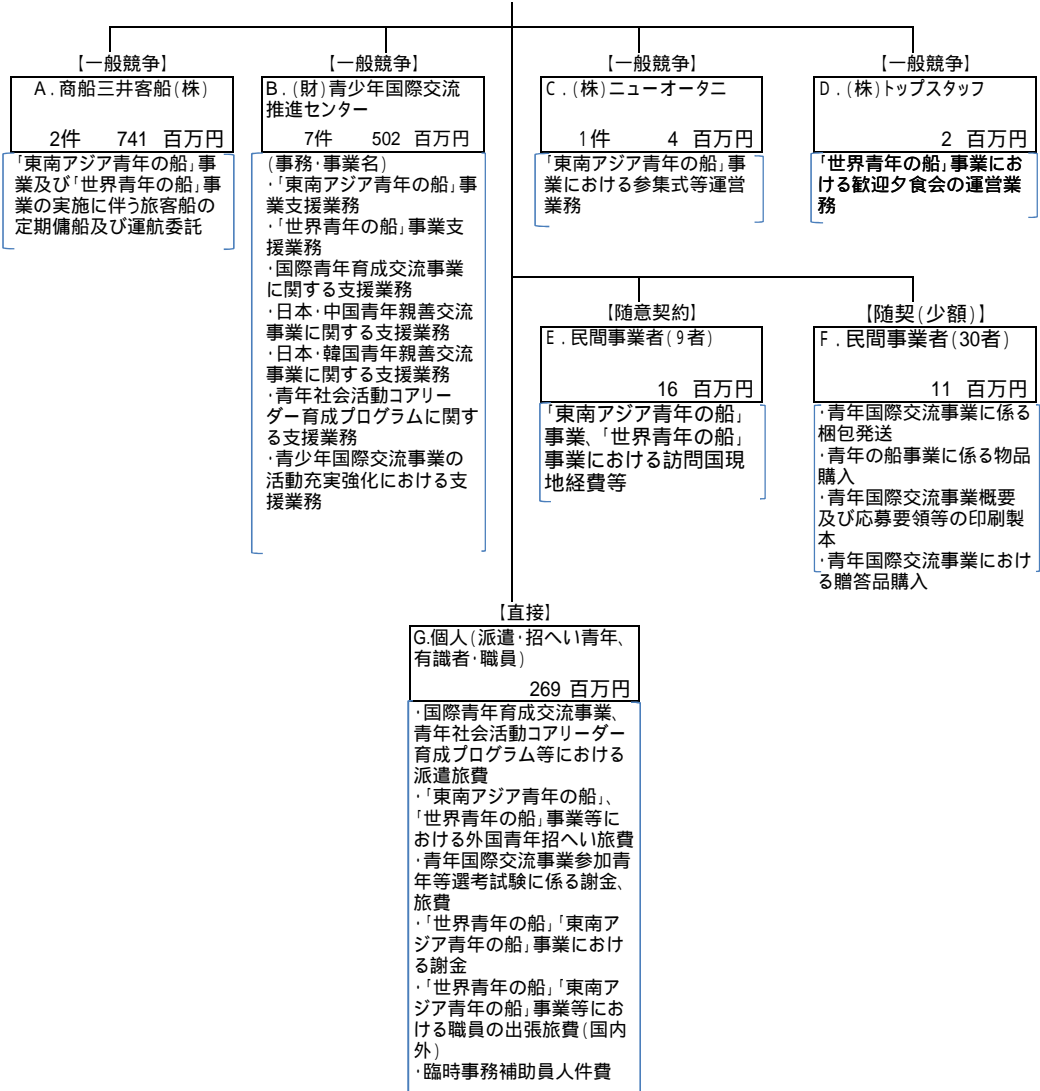
平成24年度行政事業レビューシート(内閣府)

| | | | | | | | |
|------------------------------------|--|-----------------|-------------------|---|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 事業名 | 青年国際交流経費 | | 担当部局 | 政策統括官(共生社会政策担当) (子ども・若者子育て施策総合推進室) | | 作成責任者 | |
| 事業開始・終了(予定)年度 | 昭和34年度 | | 担当課室 | 参事官(青年国際交流担当) | | 参事官 久津摩 敏生 | |
| 会計区分 | 一般会計 | | 施策名 | 59 青年国際交流の推進 | | | |
| 根拠法令 (具体的な条項も記載) | 内閣府設置法 第4条第3項二十七 青少年の健全な育成に関する関係行政機関の事務の連絡調整及びこれに伴い必要となる当該事務の実施の推進に関する事 | | 関係する計画、通知等 | 「子ども・若者ビジョン」(平成22年7月23日 子ども・若者育成支援推進本部決定) | | | |
| 事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内) | <p>青年の国際的視野を広げ、国際協調の精神やリーダーシップを持った青年を育成する。 国境を越えた青年相互の友好と理解を促進し、長期にわたる緊密な人的つながりを形成する。 に加え、国家間の友好・親善を推進する重要な事業として実施することにより、我が国の外交及び国際交流の基盤形成に資する。</p> | | | | | | |
| 事業概要 (5行程度以内。別添可) | <p>・航空機による派遣・招へい事業及び船による多国間交流事業を実施。 ・わが国及び諸外国から選抜された参加青年が、世界的な共通課題についての研究・討議、自国文化の紹介などの各種交流活動、産業・文化・教育施設等の視察・意見交換、船内での共同生活、訪問国でのホームステイなどを行う。 ・参加青年は、各国の代表者として、皇太子殿下の御接見などを賜ったり、各国の元首級等を表敬訪問。 ・これまでに、日本青年約16,000人、外国青年約19,000人が事業に参加。日本を含む世界50ヵ国以上で事後活動組織が設立され、世界的なネットワークを発展させるとともに、様々な社会貢献活動を行っている。 (別添参照)</p> | | | | | | |
| 実施方法 | 直接実施 | 委託・請負 | 補助 | 負担 | 交付 | 貸付 | その他 |
| 予算額・執行額 (単位:百万円) | 予算 の 状 況 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度要求 | |
| | | 当初予算 | 1,580 | 1,565 | 1,464 | 1,312 | - |
| | | 補正予算 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 繰越し等 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 計 | 1,580 | 1,565 | 1,464 | 1,312 | - | |
| | 執行額 | 1,703 | 1,661 | 1,545 | | | |
| 執行率(%) | 107.80% | 106.20% | 105.50% | | | | |
| 成果目標及び成果実績 (アウトカム) | 成果指標 | | 単位 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 目標値 (24年度) |
| | 青年国際交流事業の各事業における参加青年アンケート調査において、事業参加者が青年本人の将来に役立つと思う者の割合 | 成果実績 | % | 83 | 93 | 94 | 90 |
| | | 達成度 | % | 92.2 | 103.3 | 104.4 | |
| 活動指標及び活動実績 (アウトプット) | 活動指標 | | 単位 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度活動見込 |
| | 国際青年育成交流事業、日本・中国青年親善交流事業、日本・韓国青年親善交流事業、「世界青年の船」事業、「東南アジア青年の船」事業、青年社会活動コアリーダー育成プログラムにおいて、日本青年と外国青年の交流を行っている。 | 活動実績 (当初見込み) | 人 | 日本参加青年 304人 外国参加青年 563人 | 日本参加青年 296人 外国参加青年 567人 | 日本参加青年 305人 外国参加青年 565人 | |
| | | | | 日本参加青年 319人 外国参加青年 581人 | 日本参加青年 315人 外国参加青年 581人 | 日本参加青年 315人 外国参加青年 569人 | 日本参加青年 285人 外国参加青年 547人 |
| 単位当たりコスト | 44,497 (円/日数×人数) | | 算出根拠 | 事業のための予算執行額/事業参加人数・交流日数 | | | |
| 平成24・25年度 予算内訳 | 費目 | 24年度当初予算 | 25年度要求 | 主な増減理由 | | | |
| | 諸謝金 | 418 | - | | | | |
| | 職員旅費 | 16 | - | | | | |
| | 青年海外派遣旅費 | 71 | - | | | | |
| | 委員等旅費 | 1 | - | | | | |
| | 外国人招へい旅費 | 182 | - | | | | |
| | 庁費 | 10 | - | | | | |
| | 青年の船運航費 | 615 | - | | | | |
| 計 | 1,312 | - | | | | | |

| 事業所管部局による点検 | | | |
|---|--|--|---|
| | 評価 | 項目 | 評価に関する説明 |
| 目的・状況・予算の | | 広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル人材の育成は、我が国の最重要課題の一つ。 ・「子ども・若者ビジョン」において国際交流活動を育成施策の一つとして位置付けている。 ・国家間の友好・親善を推進する重要な事業であり、国が実施する必要がある。 |
| | | 国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。 | |
| | - | 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。 | |
| 資金の流れ・使途・費目 | | 支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・支出先の選定に当たっては、基本的に一般競争入札を行っている。 ・毎年事業内容の見直しを行うとともに、既参加青年を始めとするボランティアの支援等により、経費の削減に努めている。 ・日本参加青年は、応分の費用負担をしている。 |
| | | 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。 | |
| | | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | |
| | | 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 | |
| | | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | |
| 活動実績・成果実績 | | 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化に対応した青年層の育成と外交・国際交流の基盤形成に資する事業として、高く評価されている。 ・成果目標の達成度は着実に向上しており、活動実績も見込みに見合ったものとなっている。 ・事業に参加した青年が組織する日本及び世界50か国以上に設立された各国事後活動組織は、ネットワークを発展させるとともに、様々な社会貢献活動を行っている。 |
| | | 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 | |
| | | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | |
| | | 類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 | |
| | | 類似事業名とその所管部局・府省名 | |
| | | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | |
| 点検結果 | <p>・経費については、参加国数、事業日数の絞込みなどの事業内容の見直しや効率化を進め、可能な限りの縮減を図っている。青年国際交流事業は、青年の国際交流を通じた外交基盤の強化と青年の育成という二つの観点から重要な事業であり、今後とも、効率化を図りながら、その内容の充実を図っていく必要がある。</p> <p>・予算執行額が予算を上回っている現状を踏まえ、予算の見直しを進めるとともに、引き続き地方自治体や青少年団体等による支援・協力を求めるなどを通じて、予算の一層の効果的・効率的な執行に努める。</p> <p>・参加青年は、事業参加後に国際機関や各国の政財界を含む多様な分野で活躍している。また、国境を越えた生涯にわたる強い人的なつながりが築かれており、非営利の活動団体「日本青年国際交流機構」及び世界50か国以上で形成された事後活動組織を中心に、人的なネットワークを発展させるとともに、東日本大震災支援や途上国教育支援をはじめ、青少年育成や国際交流など様々な事後活動を活発に展開している。なお、日本参加青年のほぼ全員が、事業参加後に日本青年国際交流機構に入会している。(平成23年度は99%)</p> <p>・このような事業効果を対外的に発信し、事業の意義について理解を求めていくことが大切であることから、現在、ネットワークの形成状況、既参加青年の各界での活躍や社会貢献活動等の事後活動実績等を含め、より多角的な事業効果の取りまとめ・点検を行っているところである。</p> | | |
| 予算監視・効率化チームの所見 | | | |
| 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等) | | | |
| 補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載) | | | |
| 関連する過去のレビューシートの事業番号 | | | |
| 平成22年行政事業レビュー | 0127 | 平成23年行政事業レビュー | 0134 |

内閣府政策統括官(共生社会政策担当)
1,545 百万円

日本と諸外国の青年の交流により、相互理解と友好を促進し、次代を担うにふさわしい国際性を備えた健全な青年を育成することを促進



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。費目と
 使途の双方で実
 情が分かるように
 記載)

| A.商船三井客船(株) | | | E.KARUSAN TRAVELS[PVT]LIMITED | | |
|--------------------|---------------------|-------------|-------------------------------|---------------------------------------|-------------|
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| 備船料 | | 531 | 借料 | スリランカ民主社会主義共和国 寄港地活動に要するハイヤー及びバス借り上げ料 | 3 |
| 運航経費 | 港費、燃料費、運航消耗品費、供食費等 | 161 | | | |
| 運航委託手数料 | | 49 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 741 | 計 | | 3 |
| B.(財)青少年国際交流推進センター | | | F.メディアランド(株) | | |
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| 人件費 | 職員の人件費 | 121 | 印刷製本費 | 青年国際交流事業概要及び応募要領外 | 2 |
| 旅費 | 青年の旅費 | 117 | | | |
| 会議費 | レセプション、飲料、弁当、茶菓等 | 59 | | | |
| 諸謝金 | 講師、通訳、実行委員への謝金 | 57 | | | |
| 雑役務費 | 文具、保険料、入場料、工芸材料費 | 53 | | | |
| 借料 | 会場、バス、トラック、コピー機、PC等 | 50 | | | |
| その他 | 一般管理費 | 44 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 502 | 計 | | 2 |
| C.(株)ニューオータニ | | | G. | | |
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| 会議費 | レセプション | 3 | | | |
| 借料 | 会場の賃借料 | 1 | | | |
| 役務費 | 看板外 | 0 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 4 | 計 | | |
| D.(株)トップスタッフ | | | H. | | |
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| 会議費 | レセプション | 1 | | | |
| 借料 | 会場の賃借料 | 0 | | | |
| 役務費 | 看板外 | 0 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 2 | 計 | | |

支出先上位10者リスト

A.商船三井客船(株)

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|---|-----------|----------------------------------|--------------|------|-----|
| 1 | 商船三井客船(株) | 「東南アジア青年の船」事業実施に伴う旅客船の定期備船及び運航委託 | 417 | 1者 | - |
| 2 | | 「世界青年の船」事業実施に伴う旅客船の定期備船及び運航委託 | 323 | 1者 | |

B.(財)青少年国際交流推進センター

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|---|------------------|-------------------------|--------------|------|-----|
| 1 | (財)青少年国際交流推進センター | 「東南アジア青年の船」事業支援業務 | 144 | 1者 | - |
| 2 | | 「世界青年の船」事業支援業務 | 107 | 1者 | |
| 3 | | 国際青年育成交流事業支援業務 | 89 | 1者 | |
| 4 | | 青年社会活動コアリーダー育成プログラム支援業務 | 81 | 1者 | |
| 5 | | 日本・韓国青年親善交流事業支援業務 | 32 | 1者 | |
| 6 | | 青少年国際交流事業の活動充実強化支援業務 | 26 | 1者 | |
| 7 | | 日本・中国青年親善交流事業支援業務 | 23 | 2者 | |

C.(株)ニューオータニ

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|---|------------|---------------------------|--------------|------|-----|
| 1 | (株)ニューオータニ | 「東南アジア青年の船」事業における参集式等運営業務 | 4 | 2者 | - |

D.(株)トップスタッフ

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|---|------------|--------------------------|--------------|------|-----|
| 1 | (株)トップスタッフ | 「世界青年の船」事業における歓迎夕食会の運営業務 | 2 | 1者 | - |

E.民間事業者(9者)

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|---|---------------------------------------|-----------------------------|--------------|------|-----|
| 1 | KARUSAN TRAVELS[PVT]LIMITED | スリランカ 寄港地活動に要するハイヤー及びバス借上げ料 | 3 | 随意契約 | - |
| 2 | M.H.T(INDIA)TOURS & TRAVELS | インド 寄港地活動に要するハイヤー及びバス借上げ料 | 3 | 随意契約 | - |
| 3 | N.J.TOURS SDN.BHD | マレーシア 寄港地活動用バス・ハイヤー借料 | 2 | 随意契約 | - |
| 4 | FREME TRAVEL SERVICES SDN.BHD. | ブルネイ 寄港地活動用バス・ハイヤー借料 | 2 | 随意契約 | - |
| 5 | PT.Panda Travel Agency Indonesia | インドネシア 寄港地活動用バス・ハイヤー借料 | 2 | 随意契約 | - |
| 6 | Experience Pilipinas Travel and Tours | フィリピン 寄港地活動用バス・ハイヤー借料 | 2 | 随意契約 | - |
| 7 | LIEN BANG TOURISM&TRADING CO.,LTD | ベトナム 寄港地活動用バス・ハイヤー借料 | 2 | 随意契約 | - |
| 8 | KENTOS SERVICES PTE LTD | シンガポール 寄港地活動に要するハイヤー借上料 | 0 | 随意契約 | - |
| 9 | VLK Royal Tourism Co.,Ltd | カンボジア 訪問国活動用バス借料 | 0 | 随意契約 | - |

F.民間事業者(30者)

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|----|------------|---|--------------|--------|-----|
| 1 | メディアランド(株) | 青年国際交流事業 事業概要及び応募要領等の印刷製本 | 2 | 随契(少額) | - |
| 2 | 朝日梱包(株) | 平成24年度内閣府青年国際交流事業参加青年募集関係書類の梱包発送等 | 1 | 随契(少額) | - |
| 3 | (有)創電社 | 平成23年度「東南アジア青年の船」事業(第38回)に係る無線機等の購入 | 1 | 随契(少額) | - |
| 4 | (株)三陽堂 | メンディングテープ等の購入 | 1 | 随契(少額) | - |
| 5 | 富士ゼロックス(株) | 複写機の借上げ・保守及び搬入出作業一式 | 1 | 随契(少額) | - |
| 6 | (株)丸井工文社 | 平成23年度「東南アジア青年の船」事業(第38回)PROGRAM FILE等の印刷製本 | 1 | 随契(少額) | - |
| 7 | (株)祐馬工芸 | 青年国際交流事業外国参加青年等に対する贈答品の購入 | 1 | 随契(少額) | - |
| 8 | (株)植むらフーズ | 「東南アジア青年の船」事業(第38回)関係各国連絡会議等のレセプション | 0 | 随契(少額) | - |
| 9 | (株)マツモトキヨシ | 薬等の購入 | 0 | 随契(少額) | - |
| 10 | (株)あまの創健 | 医療・衛生用品等の購入 | 0 | 随契(少額) | - |

< 内閣府 青年国際交流事業 >

日本や各国を代表する青年同士が、多国間や相互での交流を行うことによって、国際的視野を広げ、理解と友好を促進し、国際協調の精神と実践力を向上させ、リーダーシップを發揮できるようにすることが目的

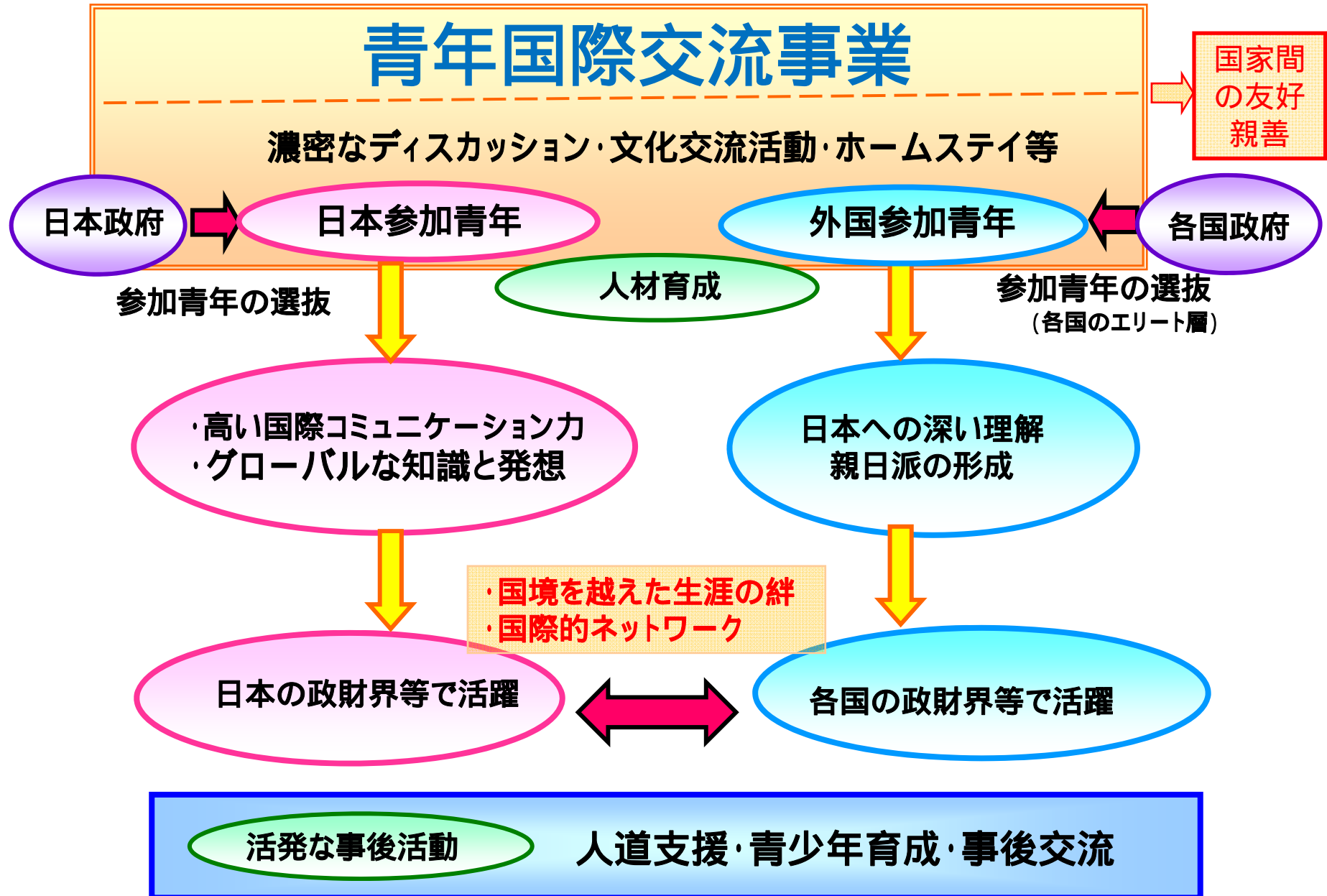
参加各国の青年からは、政治指導者を始め各界のリーダーを数多く輩出

今上陛下の御成婚記念として始まって以来、皇室の関わる事業として実施。友好の象徴として諸外国から高い評価

| 多国間交流事業 | | 二国間交流事業 | | |
|--|---|---|---|---|
| 東南アジア青年の船 | 世界青年の船 | 日中・日韓青年親善交流 | 国際青年育成交流 | 青年社会活動コアリーダー育成 |
| 経緯 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 明治百年記念(1967年)に開始、1988年に現在の形(海外青年数の大幅増加・ディスカッション中心)に再編 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 日中平和友好条約締結(1978年)を契機に開始(1979年) ・ 日韓共同声明(1984年)、国交正常化20周年(1985年)を契機に開始(1987年) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 今上陛下御成婚(1959年)を記念して開始、皇太子殿下の御成婚(1994年)を記念して再編 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢・障害・青少年の3分野に係る社会活動の中心的担い手となる青年リーダー育成を目的として2002年に開始 |
| 事業概要 (平成23年度実績) | 外国青年との濃密なディスカッションやホームステイがプログラムの中心 | | | |
| (参加青年) ・ 日本青年等40人 ・ ASEAN10ヶ国の青年等300人 (訪問国) ASEAN10ヶ国のうち5か国 (時期・期間) 約40日間の航海を含めた約50日間(10月下旬から) | (参加青年) 1 ・ 日本青年等140人 ・ 12ヶ国の青年等132人 (訪問国) 2か国程度 (時期・期間) 約40日間の航海(1月から) | (参加青年) ・ 日中の青年等各30人 ・ 日韓の青年等各30人 (訪問国) 中国・韓国 (時期・期間) ・ 派遣:15日間(9月) ・ 招へい:15日間(11月) | (参加青年) 日本及び4ヶ国の青年等各48人 (訪問国) 4ヶ国 (時期・期間) ・ 派遣:18日間(9月) ・ 招へい:18日間(7月) | (参加青年) ・ 上記3分野に従事する日本青年等27人 ・ 同外国青年等39人 (訪問国) 3ヶ国 (時期・期間) ・ 派遣:10日間(10月) ・ 招へい:15日間(2月) |
| 既参加青年数 | 日本青年等: 2763人 外国青年等: 3639人(64か国) | 日本青年等: 854人(中国) : 715人(韓国) 外国青年等: 934人(中国) : 822人(韓国) | 日本青年等: 4735人 外国青年等: 3686人(67か国) 1994年の再編前の事業参加者を含む。 | 日本青年等: 217人 外国青年等: 380人(12か国) |

1 平成24年度の「世界青年の船」事業は、世界10か国の青年と日本青年が、20日間程度航海し、途中日本国内3か所に寄港するとともに、航海終了後、日本青年は課題別に5グループに分かれて1週間程度外国を訪問する。

内閣府青年国際交流事業の効果



青年国際交流事業の事後活動組織

参加青年の大部分が事後活動組織に参加し、活発に活動。

世界57か国に組織されるなど、世界的な人的ネットワークを形成・発展。

ネットワークを活かし、大規模災害時の支援、途上国教育支援、国際交流活動（日本での異文化理解促進、海外での日本文化紹介等）などの社会貢献活動を積極的に実施。

東南アジア青年の船

ASEAN10か国全てに設立
外国人事業参加人数累計
9182人

国際的組織：
SSEAYP International
毎年1回総会を開催

2012年は日本で開催。外国人
約350人、日本人約230人が参加。
（自己負担）

日本青年国際交流機構 (IYEO)

会員数 約 15500人
（既参加日本青年：約15600人）

全国47都道府県に支部
各国事後活動組織と連携

KIYEO

参加韓国青年数の累計：823人
毎年、日韓交流連絡会議を開催。

世界青年の船

世界45か国で組織
外国人事業参加人数累計
：3639人

組織がある国の参加人数：3405人

国際的組織：SWYAA
毎年1回国際大会を開催

2011年メキシコ：約70人（15か国）
2010年エジプト：約180人（24か国）
（いずれも自己負担）

世界青年の船事後活動組織45か国の内訳

（アジア）バングラデシュ、インド、スリランカ （大洋州）オーストラリア、フィジー、ニュージーランド、ソロモン、トンガ、バヌアツ
（中近東）バーレーン、オマーン、カタール、トルコ、アラブ首長国連邦、イエメン （北米）カナダ、米国
（中南米）ブラジル、チリ、コロンビア、コスタリカ、ドミニカ共和国、エクアドル、メキシコ、パラグアイ、ペルー、ウルグアイ、ベネズエラ
（欧州）ベルギー、フィンランド、ギリシャ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ロシア、スペイン、スウェーデン、英国
（アフリカ）カメルーン、エジプト、ケニア、モーリシャス、セーシェル、南アフリカ共和国、タンザニア

事後活動組織の活動の例

One More Child Goes To School

スリランカの子どもへの教育支援活動。

- ・ 里親的支援
- ・ 文房具品の提供



国際理解教育支援プログラム

在日外国人既参加青年を学校などに派遣して、講演や交流活動。



Bus for World Youth

ペルー既参加青年による事後活動。

参加費で子供たちに学用品などの支援を行う。



Donation to Chincha: Art materials

ペルーの事後活動組織は、日本・ペルーの友好親善の取組を通じて、大使表彰を受けた。



大分県 I Y E O の途上国支援活動

タイとミャンマーの子どもたちの自立支援
使われなくなった足踏みミシンを集め、修理して寄贈



東日本大震災被災地支援活動



岩手県 I Y E O による支援の様子



東南アジア青年の船事業の国際的事後活動組織による被災地訪問・支援プログラム

(写真提供) 日本青年国際交流機構、各国事後活動組織

東日本大震災への各国事後活動組織の義援金総額は、14,148,123円。(平成24年5月14日現在)